

## **Velocity**

リリース 9.3.0

システムリリースサマリー(Rev A)

2023 年 3 月

**© 2022 Spirent Communications, Inc. All Rights Reserved.**

All the company names and/or brand names and/or product names referred to in this document, in particular, the name “Spirent” and its logo device, are either registered trademarks or trademarks of Spirent plc and its subsidiaries, pending registration in accordance with relevant national laws. All other registered trademarks or trademarks are the property of their respective owners. The information contained in this document is subject to change without notice and does not represent a commitment on the part of Spirent Communications. The information in this document is believed to be accurate and reliable; however, Spirent Communications assumes no responsibility or liability for any errors or inaccuracies that may appear in the document.

## 目次

概要.....	4
機能拡張.....	4
Velocity 適合性マトリクス .....	6
Velocity 9.3.0 における既知の問題.....	7
Velocity 9.3.0 における修正 .....	9
インストール方法とドキュメンテーション .....	12
ドキュメンテーション.....	12
How to Contact Us.....	13

## 概要

このドキュメントには Velocity リリース 9.3.0 の機能拡張、修正、および既知の問題についての情報が含まれています。

このドキュメントは、Spirent Customer Service Center の Web サイト <http://support.spirent.com> でも入手できます。

## 機能拡張

Velocity のメジャーリリースごとに、機能セクションにわかれた 1 つ以上のテーマがあります。Velocity 9.3.0 リリースの主な焦点は以下のとおりです。

テーマ	主な機能
オーケストレーションアーギュメント	<ul style="list-style-type: none"><li>• ユーザにリソースのインスタンス化に関する選択と意図を設定することを許可します。</li><li>• オーケストレーションされたリソースを予約する際に、プロパティの値をオーケストレーション自動化に渡す</li></ul>
自動化におけるターゲットの一括指定	<ul style="list-style-type: none"><li>• 予約された要素に対してユーザが一括で自動化操作を実行できるようになります。</li><li>• トポロジ内で自動化を実行する際に、複数のリソースやポートを選択できます。</li></ul>
L2 接続性の表示	<ul style="list-style-type: none"><li>• 予約内の 1 つ以上のスイッチを介した L2/VLAN 接続のエンドツーエンドルート</li><li>• スイッチエッジへの L2 ルートと、VLAN クラウド間の任意の接続性の両方</li><li>• リソーステストベッド間のある接続や、失敗した接続をトラブルシューティングすることができます。</li><li>• 自動化されたテスト操作で使用された接続の詳細な記録</li></ul>
自動化にける複数リソースとポート選択	<ul style="list-style-type: none"><li>• 予約内の複数のリソースを選択し、自動化操作（電源オン、サイクル、オフ）を実行します。</li><li>• リソース内の複数のポートを選択し、速度、設定、およびポートグループを設定する自動化操作を実行できます。</li><li>• 選択したリソースとポート名を手動で入力することなく、予約内のポイントアンドクリック選択で一括自動化操作を実行できるようになります。</li></ul>

## Velocity

### Release 9.3 – System Release Summary (Rev A)

ユーザ毎のリザーベーション数の制限	<ul style="list-style-type: none"><li>管理者は、個々のユーザに対して最大予約消費量を適用することができます。</li><li>1日の予約制限が超過された場合に通知を受け取ることができます。</li></ul>
ユーザビリティの拡張	<ul style="list-style-type: none"><li>トポロジエディタの接続ビルダに表示されるポートの詳細情報</li><li>選択したフォルダにトポロジを保存</li><li>選択したドライバによって使用されるテンプレートの表示</li><li>予約表示での日付フィルタリング</li><li>リソースにリストされたポートのソート表示</li></ul>

#### 重要:

以下の適切なバージョンから Velocity、Velocity Datastore、および Velocity Agent のバージョン 9.3.0 にアップグレードするには、以下の手順に従ってください（Spirent テクニカルサポートと連携して作業してください）

If upgrading from...	Upgrade to ...
Velocity 9.1.x	Ensure that you upgrade to 9.1.6 and then to Velocity 9.3.0.
Velocity 9.2.x	Ensure that you upgrade to 9.2.4 and then to Velocity 9.3.0
Velocity Datastore 9.1.x	Ensure that you upgrade to 9.1.3 and then to Velocity Datastore 9.3.0.
Velocity Datastore 9.2.x	Ensure that you upgrade to 9.2.2 and then to Velocity Datastore 9.3.0
Velocity Agent 9.2.x	Ensure that you upgrade to 9.2.3 and then to Velocity Agent 9.3.0

#### 注意

- 外部コンソールサーバを使用してターミナルセッションのセキュリティを強化する場合は、『Velocity Deployment Guide』に記載されている手順に従って、Distributed Console Server パッケージをダウンロードし、外部コンソールサーバを設定します。
- Velocity 9.3.0 は、VMWare VSphere および ESXi バージョン 7.0 をサポートします。VMWare VSphere と ESXi のバージョンが 7.0 にアップグレードされていることを確認してから、Velocity 9.3.0 リリースにアップグレードしてください。

## Velocity 適合性マトリクス

次の表に、サポートされているソフトウェアバージョンを示します。

項目	タイプ	バージョン
Spirent Velocity VM デプロイ環境	Hypervisor	ESXi バージョン 7.0 KVM Version1:4.2-3ubuntu6.23
	Red Hat OpenStack	バージョン 16.1
ユーザインターフェースブラウザ	Edge	Chrome ベースのバージョン 107
	Google Chrome	バージョン 107(64 ビット)
Velocity Agent	Windows	(64bit OS のみ)Windows10Pro、Windows Server2019
	Linux	(64 ビット OS のみ)RHEL7.9、Ubuntu20.04LTS
L1 スイッチ	MRV**	MRV リリースを使用した MCC および OCC のサポート: <ul style="list-style-type: none"> <li>EM316LNXNM v4.6mcc04</li> <li>EM316LNXNM v4.10mcc01</li> </ul>
	Calient	バージョン B6.0-7、モデル:S324 バージョン 6.1-3a、モデル:S320(E640 溶液用)-9.0 リリースで検証済み
	NetScout	Test Stream Management Software、バージョン 04.08.200.025 モデル:3901R
	Polatis	形式 N-OST-48x48-LU1-HMHNS 名称 POLATIS Inc.,Version:6.9.2.12
	Lepton	モデル:ColdFusion-1 ソフトウェアバージョン: 1.5.44
L2 スイッチ	Cisco	モデル:2960、バージョン:15.0(1)SE3 型式:C3750、バージョン:12.2(20)SE3 モデル C3750、バージョン:12.2(55)SE7
Spirent TestCenter Avalanche	Application	5.39 5.37
OpenStack	Cloud Manager	Queens
VMware VSphere		バージョン 7.0
AmazonWebServices(AWS)		バージョン 2.2.30
Kubernetes		バージョン 1.23.6
データベース	POSTGRESQL	13.2
	OpenSearch	2.2.0
	Minio	2021-04-22T15:44:28Z
	Kafka	3.2.3
	Zookeeper	3.5.10

\*\* テスト対象:

U-Boot1.0.3.4Linux カーネル v2.6.32.1-mrv EM316LNXNM(ファームウェア 5c.1c)

U-Boot1.0.3.4Linux カーネル v2.6.32.1a-mrv EM316LNXNM(ファームウェア 5e.23)

## Velocity 9.3.0 における既知の問題

このセクションでは、このリリースでの既知の未解決の問題をリストします。

問題キー	まとめ
RM-31871	<p>新しい Lepton ドライバーでは、既存のテンプレートが新しい Lepton ドライバーと互換性がないため、<b>forceUnmapping</b> というブール値プロパティを Lepton テンプレートに追加する必要があります。</p> <p>回避策 以下の手順に従ってください。 テンプレートにプロパティを追加します： <b>forceUnmapping</b> はデフォルトで <b>false</b> に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ false に設定されている場合：forceUnmapping プロパティは、マッピングが必要なポートのペアだけをアンマップし、ポートのペア（マッピングが必要な）をアンマップできない場合にエラーが表示されます。</li><li>・ true に設定されている場合：forceUnmapping プロパティは、マッピングが必要なポートに接続するすべてのポートをアンマップし、ポートをマッピングします。</li></ul> <p>新しい Lepton ドライバーを Velocity にアップロードします。 <b>Velocity &gt; Library &gt; Drivers</b> へ移動し <b>Add</b> をクリックして、Velocity にアップロードするドライバーを選択します。</p>
RM-31842	<p>インベントリに接続タイプが存在しない場合、トポロジエディタでは「N/A」とラベル付けされます。</p>
RM-30789	<p>Velocity インスタンスでの GET リクエストが利用不可になり、リクエストを処理できなくなる場合があります。この問題は、API READ リクエストの数が多い場合に発生することがあります。</p> <p>回避策: Velocity VM にログインします。 <b>Configure &gt; Performance Options</b> に移動します。 リクエスト制限設定の下にある <b>Reads Threshold</b> 設定を 60 に変更します。 注意：この値をあまり高く設定しないでください。最大制限サイズは 1000 です（有効な値は 1 から 1000 です）。</p>

RM-30026	Velocity インスタンスをアップグレードした後、 <b>Velocity &gt; Reports &gt; Velocity Agents</b> ページでエンベデッドエージェントを有効にすることを確認してください。
ITEST-22480	<p>upgrade.py スクリプトを使用して Velocity エージェントをアップグレードする場合は、以下の手順に従ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 最新の Velocity ファイルをダウンロードします。</li><li>2. 手動でバックアップを作成します。(手動アップグレード手順に記載されているように) <code>/etc/init.d/nda</code> サービスファイルを含めます。</li><li>3. upgrade.py スクリプトを使用する際に正しいファイルのパスを渡すことを確認してください。</li></ol> <p><b>重要：</b> 上記の手順に従わない場合、製品が破損し、データが失われる可能性があります。詳細な手順については、<i>Velocity Agent Guide</i> も参照してください。</p>



## Velocity 9.3.0 における修正

このセクションでは、このリリースの修正点を一覧表示します。

Issue Key	Summary
RM-31650	アップグレード後にトポロジがアクセス不可能または表示されない重大な問題
RM-31567	アップグレード後、抽象リソース内のセッション継承エラー
RM-31470	2つのデバイス間に複数の接続がある場合、リンク切断/復元オプションが必要に応じて機能しない問題
RM-31463	編集/更新されたアクティブ予約トポロジの保存に関する問題
RM-31393 / RM-31065	UI上で完了したテスト実行レポートが表示されない問題
RM-31362	予約内のトポロジにノート（任意の色）を追加し、YAML ファイルを取得する API 呼び出しを送信すると、問題が発生する
RM-31361	予約を変更すると、リソースのコンソールポートプロパティ ID が変更される問題
RM-31331	リソース名に特殊文字を使用すると、IWA Telnet / SSH セッションが失敗する問題
RM-31312	予約キューが立ち往生する問題
RM-3127 :	アップグレード後、強制的な自動化タスクを追加しようとする問題が発生する
RM-31263	トポロジビューでリソースプロパティのラベル/名前が重複する問題
RM-31243	削除されたリポジトリからのドライバが利用可能なドライバのリストに表示され、リソースに追加できる問題
RM-31210	一意のタイププロパティに関する問題により、親テンプレートを更新できない
RM-31209	Velocity のトポロジ予約データが OpenSearch Velocity Utilization Dashboard に反映されない問題
RM-31118	トポロジにアクセスできない、キューまたは非アクティブモードになっている予約の問題

Issue key	Summary
RM-31109	テンプレートに複数のポートを追加する際の問題
RM-31056	アクティブ予約内のトポロジリソースに表示されない継承されたセッションの問題
RM-31052	アクティブなトポロジからインタラクティブワークフローオートメーションセッションを開始する際の問題。
RM-31050	テンプレートのプロパティグループとプロパティ要素が、テンプレートまたは要素の値を更新すると順序が変更される問題。
RM-30974	FQDN を使用すると Velocity Console Server セッションがエラーになる問題。
RM-30952	抽象遅延リソース（ポートも表示される）のフィルタリングに関する問題があります。
RM-30901	アクティブ予約の所有者を変更しようとするときエラーが表示されます
RM-30849	既存のトポロジの抽象リソースのプロパティを更新する際に時間がかかる問題があります。
RM-30800	エージェントが有効でない予約を停止しようとするとき問題が発生します（予約はドライバがエージェントによって実行されるまで非アクティブ状態になります）。
RM-30708	Lepton ドライバによるポートのアンマップとマップに関する問題があります。
RM-30696	負荷が高いため、キューに入った予約が停滞しています。
RM-30689	トポロジを予約できない問題があります。
RM-30667	トポロジのノートに表示されるテキストが一部しか表示されない問題があります。
RM-30653	ユーザーグループ名が長い場合、マイユーザープロフィールページで正しく表示されない問題があります。
RM-30649	Velocity が遅い問題があります（リソースページの検索機能、トポロジタブ、トポロジの検索、予約など）。
RM-30645	指定されたデフォルトの接続タイプが期待どおりに機能しない問題があります。
RM-30631	トポロジエディタの「リソースの再配置」オプションに関する問題があります。

RM-30567	Velocity 接続データベースの Polatis Optical Switch でアクティブ接続に関する問題があります。
RM-30497	保存された Velocity 認証情報がリソースの作成時に自動的に入力される問題があります。
RM-30496	予約モードで表示される非表示の接続情報アイコンに関する問題があります。ホバーすると表示されます。
RM-30324	Velocity で構成された Git リポジトリに格納されているドライバを使用してリソースのステータスを更新しようとするエラーが発生する問題があります。
RM-30161	大きな応答を持つスクリプトを実行しようとする例外エラーが発生する問題があります。
RM-30147	REST API の call jobId で JSON 形式ではなくプレーンテキストが返される問題。
RM-30124	論理 OR を使用する場合、文字「 」が期待通りに機能しない問題。
RM-29895	Nginx および JQuery（中程度）の脆弱性が検出された問題。
RM-29680	抽象的な deferred リソースの有効化または無効化が失敗する問題。
RM-28825	Gantt チャートを作成しようとした際の OpenSearch ダッシュボードの問題。
RM-28405	Topology での抽象ポートの条件がエラーメッセージを返す問題。
RM-28151	予約がスケジュールされているにもかかわらず、活性化されない問題。
RM-25141	REST API を介して予約をリフレッシュすると、予約ロックが更新されない問題。

## インストール方法とドキュメンテーション

Velocity Deployment Guide には、ソフトウェアインストール方法が記載されています。ドキュメントリンクはサポートで入手できます。Spirent.com(Spirent Velocity の関連リソース)のダウンロード領域にあります。また、Spirent Knowledge Base(<https://support.spirent.com/SpirentCSC/>)からダウンロードすることもできます。

### ドキュメンテーション

ユーザーズドキュメンテーションは、Velocity GA 版のオンラインヘルプ形式で入手できます。Velocity アプリケーションにはヘルプファイルが含まれ、リファレンス情報と状況によるユーザーサポートを提供します。メニューバーまたはダイアログボックスの「Help」ボタンをクリックして、ヘルプファイルを起動します。PDF 形式で配信されるドキュメントは、製品のインストールと使用をサポートします。

Velocity Deployment Guide	<a href="https://support.spirent.com/SpirentCSC/SC_KnowledgeView?id=DOC10663">https://support.spirent.com/SpirentCSC/SC_KnowledgeView?id=DOC10663</a>
Velocity System Release Summary	
Velocity User Guides	
Velocity API Reference (最新の API と非推奨の API のリストを含む)。 Velocity API Version difference Comparison Documents(リリースごとに追加および変更された API を含む)	
Velocity Resource Driver Reference	
Velocity Abstract Resource Conditions Language Reference Guide	
Script examples bundle Velocity Virtual Testbed Orchestration Example Instructions and Hello World! Test Script	
License Servers Installation Guide	<a href="https://support.spirent.com/SpirentCSC/SC_KnowledgeView?id=DOC11183">https://support.spirent.com/SpirentCSC/SC_KnowledgeView?id=DOC11183</a>
Velocity User Agent Guide	<a href="https://support.spirent.com/SpirentCSC/SC_KnowledgeView?id=DOC11235">https://support.spirent.com/SpirentCSC/SC_KnowledgeView?id=DOC11235</a>
VDS Deployment Guide	<a href="https://support.spirent.com/SpirentCSC/SC_KnowledgeView?id=DOC10708">https://support.spirent.com/SpirentCSC/SC_KnowledgeView?id=DOC10708</a>
VDS Release Summary	

**注記:** Velocity> Related Resources セクション(Spirent Customer Service Center のダウンロードページ(<https://support.spirent.com/SpirentCSC/>))には、ドライバを Spirent が提供する最新版にアップデートしたい場合に提供される、Velocity ドライバが含まれています。

## How to Contact Us

To obtain technical support for any Spirent Communications product, please contact our Support Services department using any of the following methods:

### Americas

E-mail: [support@spirent.com](mailto:support@spirent.com)

Web: <http://support.spirent.com>

Toll Free: +1 800-SPIRENT (+1 800-774-7368) (North America)

### Europe, Africa, Middle East

E-mail: [support@spirent.com](mailto:support@spirent.com)

Web: <http://support.spirent.com>

EMEA Phone: +33 (1) 6137 2270

### Asia Pacific East

E-mail: [support@spirent.com](mailto:support@spirent.com)

Web: <http://support.spirent.com>

In China Mainland Phone: +86 (400) 810-9529 (toll-free)

Out of China Mainland Phone: +86 (10) 8233 0033

### Asia Pacific South

E-mail: [support@spirent.com](mailto:support@spirent.com)

Web: <http://support.spirent.com>

India, South East Asia, Australia and New Zealand Phone: +91 800-419-2111 +91 (80) 67023400

The Spirent Knowledge Base (<http://support.spirent.com>) is designed to serve your technical information needs. The Knowledge Base gives you access to tens of thousands of documents that help answer your network analysis and measurement questions. New content is added daily by Spirent's communications and networking experts. Sign in with your user ID and password to gain access to additional content that is available only to customers – user manuals, Help files, release notes, Tech Bulletins, and more. When you sign in, you can also use the Knowledge Base to download software and firmware, and to manage your SRs.

Information about Spirent Communications and its products and services can be found on the main company website at <http://www.spirent.com>.

### Company Address

Spirent Communications, Inc.

26750 Agoura Road

Calabasas, CA 91302 USA